

地域とつながる消防団 一緒に活動しませんか？

step
1
地域の消防団を
調べる
お住まいの
市町村のホームページから
消防団を探します。

消防団へ入団するには
step
2
消防団へ
問い合わせる
入りたい消防団の連絡先を調べ、
電話・メールなどで
お問い合わせください。

step
3
あなたも
消防団員に！
お問い合わせ先の案内に従い、
入団手続きが完了すれば、
晴れて「入団」となります。

●鳥取県内消防団問合せ先

地区	消防団名	担当部署	電話番号	メールアドレス
東 部	鳥取市消防団	鳥取市役所危機管理課	0857-30-8032	kikikanri@city.tottori.lg.jp
	岩美町消防団	岩美町役場総務課	0857-73-1411	soumu@town.tottori-iwami.lg.jp
	若桜町消防団	若桜町役場総務課	0858-82-2211	somu@town.wakasa.lg.jp
	智頭町消防団	智頭町役場総務課	0858-75-4111	soumu@town.chizu.lg.jp
	八頭町消防団	八頭町役場総務課	0858-76-0203	bousai@town.yazu.lg.jp
中 部	倉吉市消防団	倉吉市役所防災安全課	0858-22-8162	bousai@city.kurayoshi.lg.jp
	三朝町消防団	三朝町役場総務課	0858-43-3500	saigai@town.misasa.lg.jp
	湯梨浜町消防団	湯梨浜町役場総務課	0858-35-3115	ysomu@town.yurihama.lg.jp
	琴浦町消防団	琴浦町役場総務課	0858-52-2111	bousai@town.kotoura.lg.jp
	北栄町消防団	北栄町役場総務課	0858-37-5862	bousai-soumu@town.hokuei.lg.jp
西 部	米子市消防団	米子市役所防災安全課	0859-23-5337	bousai@city.yonago.lg.jp
	境港市消防団	境港市役所防災危機管理課	0859-47-1124	bousai@city.sakaiminato.lg.jp
	日吉津村消防団	日吉津村役場総務課	0859-27-5950	soumu@vill.hiezu.lg.jp
	大山町消防団	大山町役場総務課	0859-54-5201	bousai@town.daisen.lg.jp
	南部町消防団	南部町役場総務課	0859-66-3112	bousai@town.tottori-nanbu.lg.jp
	伯耆町消防団	伯耆町役場総務課	0859-68-3111	bousai@town.hoki.lg.jp
	日南町消防団	日南町役場総務課	0859-82-1111	s0100@town.nichinan.lg.jp
	日野町消防団	日野町役場総務課	0859-72-0331	soumu@town.tottori-hino.lg.jp
	江府町消防団	江府町役場総務課	0859-75-2211	k_bousai@town.kofu.lg.jp

●発行者

鳥取県
危機管理部消防防災課
shoubou@pref.tottori.lg.jp
TEL.0857-26-7065
(R6.1月版)



●市町村名



自らの地域は自らで守る

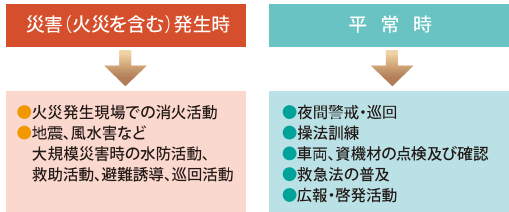
鳥取県

消防団とは

消防団は、市町村に設置されている非常備の消防機関で火災発生時の消火活動、災害発生時の水防活動、地域巡回、捜索活動などを行っています。平常時は、応急手当の普及、火災予防活動を行い地域防災力の要として地域住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。

消防団員は、常勤の消防職員とは異なり、火災や災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動や救助活動を行う【非常勤特別職の地方公務員】です。鳥取県内では、約4,300名の消防団員が活動をしています。(令和5年4月現在)

また、消火活動や救助活動など実災害での出動は行わず、広報活動や救命講習など、出動をメインとする基本団員の後方支援を行う「機能別消防団員制度」もあり、本業やワークライフバランスに合わせた活動ができます。鳥取県内では、米子市及び倉吉市が機能別消防団員制度を導入しています(令和5年4月現在)。



報酬・手当等

加入条件

一般的には、18歳以上でその市町村に居住していれば(一部、通勤・通学者でも可)加入できます。詳しくは、各市役所、町村役場にお問い合わせください。(裏表紙に記載)

報酬と手当

消防団員という身分を持つことに対する「年額報酬」が支給されるほか、実際の活動実績に応じて手当が支給されます。

公務災害補償

消防団活動は公務員として活動するため、活動中のケガ等については、市町村が条例に定める基準に基づき補償があります。

退職報奨金

長年の活動実績がある場合は、各市町村が条例に定める基準に基づき退職報酬が支給されます。

活動に必要な被服など

消防団活動に必要な被服などは各市町村から貸与があります。



学生消防団活動認証制度

「学生消防団活動認証制度」は、消防団員として活動した学生に対し、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付するものです。この証明書は、就職活動の自己PRなどで活用できます。鳥取県内では、米子市及び倉吉市が導入しています。(令和5年4月現在)

認証対象者(例)

- 1年以上の活動実績
- 在学中又は大学等を卒業して3年以内



学生消防団活動

申請

認証を希望する学生消防団員は、所属する消防団長に認証の推薦を依頼し、消防団長が市町村長に推薦します。

審査

市町村長は、推薦のあった学生消防団員の功績の認証の可否を審査します。

交付

市町村長は、審査の結果、認証することを決定した場合は、「認証状」(本人用)と「認証証明書」(企業提出用)を交付します。

Interview 消防団員インタビュー 消防団員に聞いてみた!



米子市消防団(彦名分団)
米子工業高等専門学校 5年 学生団員
つかはら 空太さん

米子市消防団彦名分団は、学生や在住外国人の方が活躍しています。彦名分団に所属する団員2名にインタビューをしました。

Q1 消防団に入ろうと思った理由

A1 2011年に起こった東日本大震災後、いつか自分も自分の住んでいる地域の役に立ちたいと思うようになり、消防団員を募集をしていることを知り、入団しました。

Q2 やりがい

A2 消防団活動を通して、日本人の友達を作れること、また団員仲間と防火訓練ができることが私の消防団員としてのやりがいです。

Q3 地域の人と一緒に活動することについて

A3 私は米子市で、消防団活動に限らず地域のお祭りなど、その場その場で地域の方々や子どもたちとの出会いをとても楽しんでおり、大切にしています。



英国マンチェスター出身
米子市消防団(彦名分団)班長
コープ・グレラムさん

Q1 消防団に入ろうと思った理由

A1 自分は少し遠いところに住んでいるので学校周辺の地域の方々との交流を望んで入団しました。

Q2 今までおこなってきた消防団活動とやりがい

A2 学生団員としての活動は、防災について学んだり、実際に消防車に乗ってパトロールに回ったり、地域のイベントでの啓発活動を行ったりと様々です。

Q3 消防団活動で学んだこと、そして、今後、どう活かしていきたいか

A3 消防団に入って日頃から防災を意識するようになり、避難経路を考えてみたり防災グッズを買ってみたりと意識が変わりました。また、人見知りがあったのですが、消防団活動を通じて人としゃべるようになった、という変化もあります。卒業後も、鳥取県内での就職を予定しているので引き続き消防団員として活動していきたいと思っています。

学生と消防団の交流

消防団の加入促進・魅力向上、裾野拡大のため、倉吉市消防団と鳥取看護大学・鳥取短期大学の消防防災サークル「ToCoToN FAST」のメンバーが交流しました。



第1回消防団を知ろう交流会

日時:令和5年11月23日(木・祝) 場所:倉吉市内

【目的】学生と地元消防団の交流の機会を通して、消防団・消防団活動を知ることきっかけをつくり、地域とのつながりを構築する。

鳥取看護大学・鳥取短期大学 消防防災サークル「ToCoToN FAST」とは

鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生が所属する防災意識の向上を目的としたサークル。鳥取県が行う消防防災イベントの運営スタッフや災害時のボランティア活動、さらには地元地域の消防団への加入促進活動等を行います。また、学内で行う地震・火災を想定した避難訓練などについても積極的にかわり、学生・教職員、地域の方々の防災意識の向上に努めています。



参加した団員(班長)の声

学生さんの熱意を感じることができ、とてもうれしく思いました。男性・女性関係なく、消防団活動に興味を持ってもらえることが何よりうれしいです。

参加した学生の声

消防服を初めて着て、厚く守られている感じがしました。資機材は実際に持ってみると重くて、放水はスピードや水が飛び距離に驚きました。1つ1つの作業が終わる度に「確認」をしていて、安全意識の高さを感じ、この確認が安全につながっているのだと実感しました。

参加した団員(分団長)の声

これまで学生と交流したことがなく、いい機会でした。実際に交流をしてみると参加してくれた学生さんの防災意識が高く、積極的に質問もあり、うれしかったです。お互い、いい時間だったと思います。

参加した学生の声

チラシなどを見て、消防団には興味がありましたが、具体的なことを知るきっかけがなく、今回、消防団員さんとの交流で消防団のことを知ることができてよかったです。

